

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年4月7日

BMJ:信頼できる新型コロナサーベイランス継続が重要

【松崎雑感】

サーベイランスを止めてしまったイギリス政府の新型コロナ対策ダメじゃん、と言う趣旨のBMJ論説です。政党支持率調査と同じく、無作為抽出で、今どこにどれだけ感染が広がっているか、変異株は流行していないかを調べてきたイギリスでは、このサーベイランス事業を止めたとのこと。日本では、REACTのようなサーベイランス自体がそもそもないので、[政府のコロナ対策ダメじゃん率]はけた違いに大きいのです。日本でも、しっかりコロナサーベイランスをやりましょう！

信頼できる新型コロナサーベイランス継続が重要

Richardson S. **It is vital that we retain some reliable covid-19 surveillance tools.** *BMJ*. 2022;377:o900. Published 2022 Apr 5.
doi:10.1136/bmj.o900

REACTプログラム（インペリアル・カレッジ・ロンドンが主導する英国内の新型コロナウイルス感染状況調査）が3月末で終了となったニュースに驚いている。

今後新型コロナサーベイランスが、同様の規模で継続されるのかどうか心配である。

パンデミック中のREACTなどのサーベイランスは、新型コロナの流行状況について重要な情報をもたらしてきた。一般人口から無作為抽出で調査対象を決めてきたため、バイアスのない市中感染状況を明らかにすることが可能だった。

REACTによって明らかになった重要な知見の一つに、無症状感染者の3分の1が二次感染源となりうることだった[1]。

最近感染者数が増加しているが、REACTはワクチン免疫の低下した55才以上の人々の感染が増えていることを明らかにしている[2]。

イングランドでは、検査で新型コロナ感染と診断された人々に対する自己隔離義務化が2月で終了し、3月には旅行制限も終了した。

したがって、市中感染のサーベイランスは今まで以上に必要となっているはずだ。人々の行動制限が緩和される一方ワクチン免疫も低下中という新しいステージに入っている今、信頼性の高いサーベイランスこそが必要だ。

この2年間、コンタクト・トレーシングが計画的に行われ、新たな変異株を迅速に発見し、必要な感染防止対策を強化するという輝かしい成果を上げてきた。

これらのタイムリーなデータが入手できなければ、適切な感染対策によって多くの市民の健康を守る事は出来なかつただろう。

このサーベイランスシステムは、感染がピークの時にも役に立つが、感染が収まった後で、ロングコロナの発症率を調査する場合にも利用可能である[3]。

自己申告に頼った調査は信頼できない。検査が陰性の場合、それを申告しない人々があり、抗原検査結果が本当かどうかをPCR検査で確認する義務がなくなると、抗原検査が陽性でも、それを申告しない人が増えるだろう。

この状況は、有症状者あるいは無症状者に無料で検査を行うという制度が4月1日に終了したことで、ますます問題となってくるだろう。

これらにより、検査を受ける人が減り、検査を受ける人が収入の多い層に偏るというバイアスをもたらす。

政府は「ウイズコロナ」プランの実施を高らかに宣言したが、明確なデータ収集方針を持っていない。政府は今後コロナの検査をどのように進めるつもりか？新たな変異株をどのように見つけるのか？これらの問題を解決するためには、透明性の保持と公開が必要だ。

政府はワクチン接種が感染防止に重要だと言うが、ワクチンの有効性と免疫レベルの低下を明らかにするためには、サーベイランスが必須である。

もちろん公的資金支出には限界がある。コロナ対策に非常に多くの資金が投入されたが、多分野には投入されなかった。ONSサーベイランスには年間3億9千万ポンド、廃止されたばかりのZoeコロナスタディアプリには500万ポンドが投入されていた[4,5]。

一方、初年度の濃厚接触者追跡事業には135億ポンド、そして使用不能なPPEにはなんと90億ポンドが支出されていた[6,7]。

サーベイランス事業が終了となったことで「節約できる資金」はあるだろうが、より病原性の高い新変異株が突然出現して医療と経済に大きな悪影響をもたらすおそれが高いため、かえって余計な経済損失が増えることが予想される。

これまでのサーベイランス事業を率いてきた統計専門家らの意見を取り入れて、損失の大きなサーベイランス中止をもたらさないようにする必要がある。

政府の新型コロナ対策が適切かどうかを判断するためには、感染の現状を的確にサーベイすることなしにはできない。

保健長官は国民に、規制緩和による感染増加に備えをするよう呼び掛けているが、本当に足りないのは、変化する感染状況を的確に把握するための政府の備えが不十分だという事だ。

イギリスは、新型コロナサーベイランスで世界の先頭に立ってきた。これまでにない規模とスピードでウイルスの感染状況を掴むシステムをゼロから作り上げた。パンデミックは未だ終息していない。

今やるべきことは、積み重ねてきた良き仕事をやめずに続けることである。